

経営協議会学外委員からの主な意見等への対応状況

経営協議会	学外委員からの主な意見等	対応状況
第30回 (平成23年 2月 2日)	〈国際交流会館第3号館の整備〉	
	国際交流会館の料金については、建物別に考えるのではなく、1号館、2号館も併せて検討することが望ましい。	3つの国際交流会館を総合的に捉えて検討していくこととした。
	国際交流会館に日本人学生の入居も検討してほしい。	国際交流センターのようなものの設置を検討する。
	入居者の選択にあつては、ショートスタディコースの留学生にも対応すべきで	国際交流センターのようなものの設置を検討する。
	〈これからの東京外国語大学〉	
	海外の提携大学との教員の交流（交換教授）を検討してはどうか。	教授内容や給与面での問題を解決しながら検討していく。
	日本人学生の海外留学をカリキュラムに組み込むことを望む。	制度の見直しを検討している。
	ショートビジット型の留学を増やしてはどうか。	制度の見直しを検討している。
大学広報の体制をさらに整えるべきである。	学部改編を機に、今後継続的に広報体制を充実させていくこととしている。	
第31回 (平成23年 3月23日)	〈東日本大震災への対応〉	
	特に留学生、外国人教員に対してきめ細やかな対応を行って欲しい。	「多言語災害情報支援サイト」を立ち上げ、広く日本に住む外国人に向けて多言語での情報提供を行った。 また、渡日前の留学生からの質問や不安に対する問い合わせに担当課が丁寧な対応を行った結果、本学の外国人留学生への影響は当初心配されたほどは出なかった。
	〈学士課程の改編〉	
本学にはこれまでなかった名称の科目（「文化のおもしろさ」等）は、学生に対して学生に対して内容を十分に説明する必要がある。	履修案内や授業科目概要（シラバス）の記載方法の在り方を見直し、学生にとって判りやすい説明となるよう検討を重ねることとした。	
第32回 (平成23年 6月24日)	〈平成22事業年度に係る業務の実績〉	
	研究科の専攻ごとの定員充足率のばらつきを改善する取り組みが必要である。	1年短縮コースの設計の見直し、入試選考の見直し等、改善に向けた検討を行うこととした。
	〈学士課程の改編〉	
	今回の改編は、外国の社会や文化についての研究と教育全体の在り方を変えていくという高い理念を持った改革であることを説得的に説明してほしい。	委員からの意見も踏まえ、要望意見への対応を行い、設置申請を行った。
企業アンケートについては、ニーズだけではなく、新学部に対する期待も調査してはどうか。	新学部への期待も含めた企業アンケートを実施した。	
第33回 (平成23年10月31日)	〈田沢湖高原研修施設〉	
	留学生に利用してもらう等、学生主導で利用率を上げる方策を検討してはどうか。	案内パンフレットを刷新し、PR活動を強化することとした。
	OB・OGを対象とした利用アンケートを取ってニーズを探るとともに、PRを行ってみたいはどうか。	また、子供料金、研修料金を新たに設定する料金改定の見直しを行うこととした。
	〈法人運営活性化支援分（仮称）〉	
教育研究評価に対して一貫したルールを提示するよう意見したほうが良い。	国大協等を通じて意見する。	